

## 志賀原子力発電所2号機 低圧タービンの整流板設置工事開始について

平成19年2月13日  
北陸電力株式会社

当社は、昨日（2月12日）、志賀原子力発電所2号機低圧タービンで損傷した12段の羽根に替わる<sup>1</sup>整流板を搬入し設置工事を開始しましたので、お知らせします。

今後、設置にあたり品質管理に万全を期すとともに、電気事業法に基づく経済産業省の<sup>2</sup>使用前検査を受けてまいります。

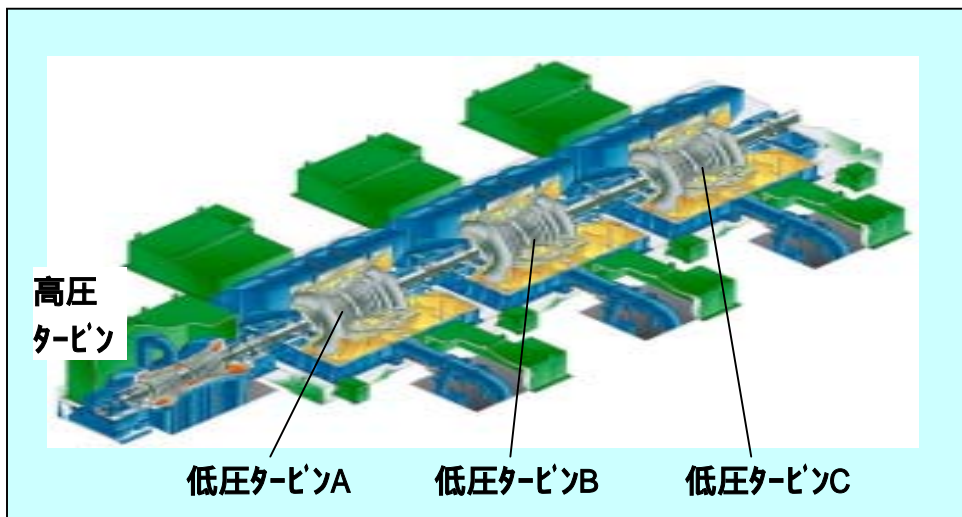
- 1 整流板：低圧タービン12段の羽根（動翼、静翼）がある場合と同様に蒸気の圧力を下げるとともに蒸気の流れを整える役割を有する半円形状の板
- 2 使用前検査：整流板設置に関する使用前検査には、整流板の外観、材料、寸法等が工事計画どおりに製作されていることを確認する検査および整流板設置後の運転状態において安定に運転できることを確認する検査があります。

以上

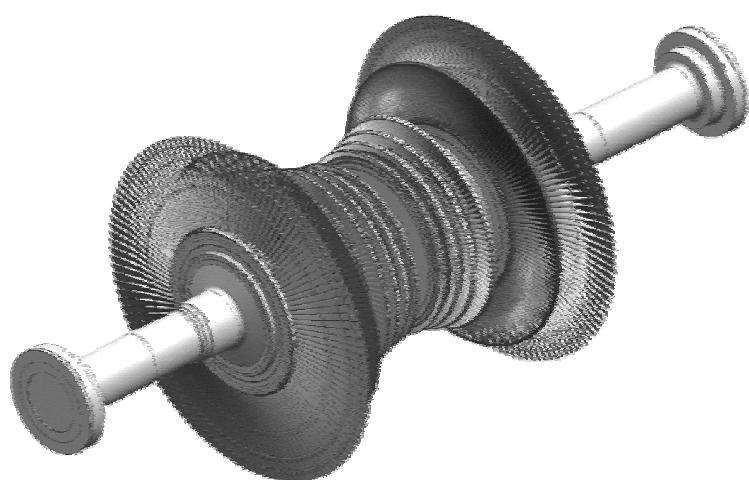
なお、3月上旬、報道関係者の皆さまに、整流板の設置工事状況等の取材をしていただく予定です。詳細につきましては、後日あらためてご案内いたします。

添付資料 整流板設置の概要

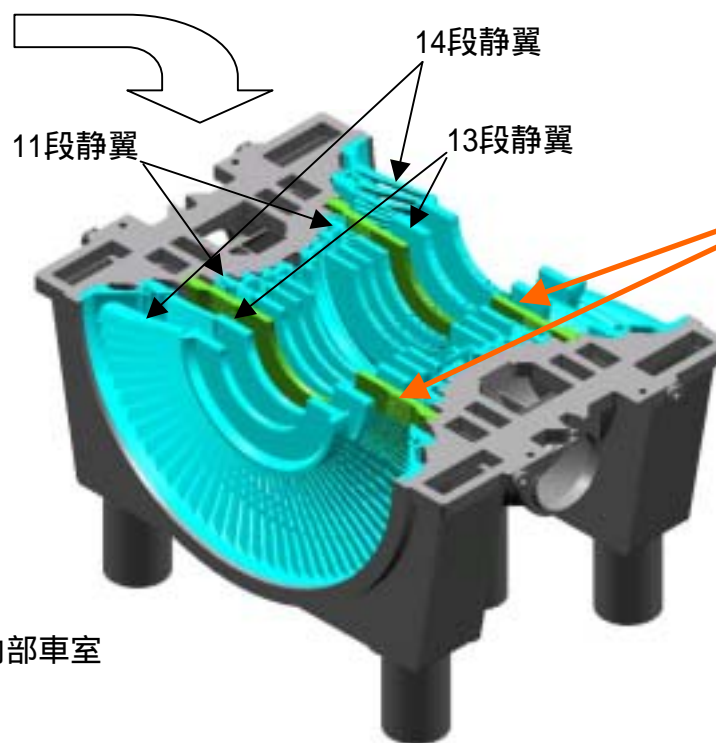
# 整流板設置の概要



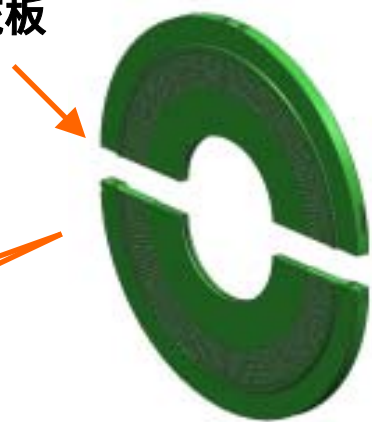
タービン建屋に搬入された整流板



低圧車軸 (ロータ)



低圧内部車室



- 整流板の大きさ・材質
- ・外径: 4.09 m
  - ・最大厚さ: 15.8 cm
  - ・孔の直径: 3.2 cm
  - ・孔の個数: 1458 個
  - ・重量: 約 10 トン
  - ・材質: 合金鋼